

花巻市
道路脱炭素化推進計画

令和 8 年 5 月

花巻市

目次

1. 道路の脱炭素化の目標	3
1.1 「道路管理分野」の目標	3
1.1.1 「道路管理分野」全体の CO ₂ 排出量	3
1.1.2 「道路管理分野」全体の CO ₂ 削減目標	3
1.1.3 「道路管理分野」の個別施策毎の CO ₂ 削減目標	3
1.2 「道路整備分野」の目標	4
1.3 「道路利用分野」の目標	4
2. 目標を達成するために行う道路の脱炭素化の推進を図るための施策	5
2.1 道路管理分野	5
2.1.1 道路関係車両の電動車化	5
2.1.2 道路照明の LED 化	5
2.1.3 再生可能エネルギー活用	5
2.2 道路整備分野	6
2.2.1 低炭素アスファルトの導入	6
2.3 道路利用分野	6
2.3.1 自転車利用の促進	6
2.4 ロードマップ	7
3. その他計画の実施に関し必要な事項	8
3.1 脱炭素化施設等の設置	8
3.2 道路協力団体の協力	8

1. 道路の脱炭素化の目標

1.1 「道路管理分野」の目標

道路管理分野の目標は以下のとおりである。

1.1.1 「道路管理分野」全体のCO₂排出量

本計画における目標の基準年度となる2015年度の道路管理分野におけるCO₂排出量を示す。

表1 道路管理分野におけるCO₂排出量

区分	CO ₂ 排出量
	2015 年度 (基準年度)
1. 道路関係車両からのCO ₂ 排出量	45t
2. 道路照明の電力消費によるCO ₂ 排出量	230t
3. 道路設備・施設の電力消費によるCO ₂ 排出量	56t
計	331t

1.1.2 「道路管理分野」全体のCO₂削減目標

本計画の「道路管理分野」全体における目標年度及び目標削減率は以下のとおりである。

表2 道路管理分野におけるCO₂削減目標

	2030 年度	2040 年度
CO ₂ 目標削減率	45%	60%
CO ₂ 目標削減量	149t/年	198t/年

1.1.3 「道路管理分野」の個別施策毎のCO₂削減目標

「道路管理分野」全体のCO₂削減目標達成に向けて、「道路関係車両の電動化」、「道路照明のLED化」、「再生可能エネルギー活用」により、2015年度比でそれぞれ2040年度までに以下の通りCO₂削減する。

表3 取組の実施によるCO₂削減量

取組内容	各取組の整備指標			CO ₂ 削減量	
	2015 年度 (基準年度)	2030 年度	2040 年度	2030 年度	2040 年度
1. 道路関係車両の電動化	0%	50%	100%	4t/年	9t/年
2. 道路照明のLED化	11.6%	90%	100%	122t/年	157t/年
3. 再生可能エネルギー活用	5.7%	55%	65%	32t/年	40t/年
計				158t/年	206t/年

1.2 「道路整備分野」の目標

道路整備分野のCO₂削減策として、「低炭素アスファルトの導入」の取組を実施する。
2030年度までは、「低炭素アスファルトの試験導入期間」として「使用工事件数」の目標を設定せず、2040年度の「低炭素アスファルトの使用工事件数」を4件とすることを目標とする。

表4 道路整備分野における施策の整備指標

取組内容	使用工事件数		
	2015年度 (基準年度)	2030年度	2040年度
低炭素アスファルトの導入	0件	—	4件

1.3 「道路利用分野」の目標

道路利用分野のCO₂削減策として、「自転車利用の促進」の取組を実施する。
2030年度の「自転車通行空間の整備延長」を12km、2040年度の「自転車通行空間の整備延長」を23kmとすることを目標とする。

表5 道路利用分野における施策の整備指標

取組内容	自転車通行空間の整備延長		
	2015年度 (基準年度)	2030年度	2040年度
自転車利用の促進	0.5km	12km	23km

2. 目標を達成するために行う道路の脱炭素化の推進を図るための施策

2.1 道路管理分野

道路管理分野の CO₂ 削減目標達成のための取組は、以下のとおりである。

2.1.1 道路関係車両の電動車化

(2030 年度までの取組)

2030 年度までに公用車は 50%の電動車化を進める。

なお、特殊車両や維持作業車は目標対象から除外する。

(2040 年度までの取組)

2040 年度までに公用車は 100%の電動車化を進める。

表 6 道路関係車両の電動車化

対象車種	2015 年度 (基準年度)	2030 年度	2040 年度
公用車	0%	50%	100%

電動車化については、電気自動車のほか水素エンジン等脱炭素に資する新技術についても、その実用性を勘案して検討する。

2.1.2 道路照明の LED 化

(2030 年度までの取組)

2030 年度までに道路照明の 90%を LED 化する。

(2040 年度までの取組)

2040 年度までに道路照明の 100%を LED 化する。

表 7 道路照明およびトンネル照明の LED 化率

取組内容	2015 年度 (基準年度)	2030 年度	2040 年度
照明灯 LED 化	11.6%	90%	100%

2.1.3 再生可能エネルギー活用

(2030 年度までの取組)

2030 年度までに道路管理に使用する電力の再生可能エネルギー比率を 55%にする。

なお、目標達成に向けては、再生可能エネルギーを活用した電力の調達に加えて、道路区域内における太陽光発電施設などの再生可能エネルギー活用について検討する。

(2040 年度までの取組)

2040 年度までに道路管理に使用する電力の再生可能エネルギー比率を 60%にする。

なお、目標達成に向けては、再生可能エネルギーを活用した電力の調達に加えて、道路区域内における太陽光発電施設などの再生可能エネルギー活用を推進する。

表 8 調達電力の再生可能エネルギー比率

2015 年度 (基準年度)	2030 年度	2040 年度
5.7%	55%	60%

2.2 道路整備分野

道路整備分野の取組は、以下のとおりである。

2.2.1 低炭素アスファルトの導入

(2030 年度までの取組)

アスファルト製造過程に発生する CO₂ 排出量の削減が可能な炭素アスファルトを導入する。

2030 年度までは、低炭素アスファルトの試験導入期間として使用工事件数の目標を設定しないこととする。

(2040 年度までの取組)

さらに低炭素アスファルトの導入を進め、2040 年度までに使用工事件数を 4 件とする。

表 9 道路整備分野における施策の整備指標（再掲）

取組内容	使用工事件数		
	2015 年度 (基準年度)	2030 年度	2040 年度
低炭素アスファルトの導入	0 件	—	4 件

2.3 道路利用分野

道路利用分野の取組は、以下のとおりである。

2.3.1 自転車利用の促進

(2030 年度までの取組)

低炭素な人流へ転換するため、自転車利用環境の改善など自転車の利用を促進する。

これにより、2030 年度までに自転車通行空間の整備延長を 12km とする。

(2040 年度までの取組)

さらに自転車利用環境の改善を進め、2040 年度までに自転車通行空間の整備延長を 23km とする。

表 10 道路利用分野における施策の整備指標（再掲）

取組内容	自転車通行空間の整備延長		
	2015 年度 (基準年度)	2030 年度	2040 年度
自転車利用の促進	0.5km	12km	23km

2.4 ロードマップ

2.1 から 2.3 に記載した取組毎に、実施時期をロードマップとして示す。

表 11 脱炭素化に係るロードマップ

取組分野	取組内容	2026 年度	2027 年度	～2030 年度	～2040 年度
道路管理分野	道路関係車両の電動車化	導入計画検討		本格導入	
	道路照明の LED 化	LED 道路照明への交換・導入			
	再生可能エネルギー活用	再エネ電源調達の検討		再エネ電力調達への移行	
道路整備分野	低炭素アスファルトの導入	導入計画検討		試行導入・検証	本格導入
道路利用分野	自転車利用空間の整備	自転車利用空間の整備推進			

3. その他計画の実施に関し必要な事項

3.1 脱炭素化施設等の設置

2.1.3 に掲げた再生可能エネルギー活用を推進するため、融雪施設の新設や大規模修繕の際には、地下水循環や井戸水・地中熱交換などを活用した融雪方法について検討する。

3.2 道路協力団体の協力

道路の脱炭素化の取組を推進するため、各施策については道路協力団体など民間からの協力を得て実施することとし、今後、道路関係団体との連携の可能性について検討していく。

道路の脱炭素化に資する業務例

- 1) 花壇の整備や植栽の管理
- 2) 太陽光発電施設の設置・管理
- 3) シェアサイクルの導入
- 4) 自転車通勤の導入